

令和2年度柴田町議会2月会議

# 一般質問通告書

## 《 目 次 》

順	議席番号	一般質問通告者	頁
1	9番	平 間 奈緒美 議員	3
2	15番	舟 山 彰 議員	5
3	6番	吉 田 和 夫 議員	8
4	2番	加 藤 滋 議員	10
5	12番	森 淑 子 議員	11
6	10番	佐々木 裕 子 議員	12
7	1番	森 裕 樹 議員	14
8	4番	平 間 幸 弘 議員	16
9	16番	白 内 恵美子 議員	18
10	11番	安 部 俊 三 議員	21
11	13番	広 沢 真 議員	22
12	7番	秋 本 好 則 議員	24
13	14番	有 賀 光 子 議員	26

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順1番] 9番 平間 奈緒美</p>	<p>1. 齊藤博記念文庫の活用をどう考える</p> <p>齊藤博記念文庫は、獨協大学経済学部教授であった故齊藤博氏の残した多くの蔵書と収集資料を、夫人の故齊藤幸枝獨協大学教授より「齊藤博先生の研究を受け継ぎ、民衆史や古文書研究に活用してもらいたい」と多額の寄附を受け、平成15年4月にしばたの郷土館内に開館したものです。</p> <p>開館してから17年が経過しています。齊藤先生の残された本町にかかわる貴重な研究資料などを町として今後どう活用していくのか、現状のままでいいのかを検討していく時期ではないでしょうか。見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 齊藤博記念文庫の利用状況は。</li> <li>2) 書籍の整理はしているのか。</li> <li>3) 蔵書の活用についてご遺族と具体的にどのような話し合いがされたのか。</li> <li>4) 齊藤博記念文庫は柴田町図書館附属施設として、図書館の管理となっている。しかし、研究資料閲覧に関しては郷土館となっている。連携体制はどうなっているのか。</li> <li>5) 図書カードを持っていなくても目録の閲覧はできるのか。また、閲覧する際には郷土館に案内するのか。</li> <li>6) 齊藤博記念文庫内の維持管理体制はどうなっているのか。保存状態は。燻蒸などは定期的に行っているのか。</li> <li>7) 齊藤博記念文庫内の書籍を自由に閲覧できるようにし、盗難防止策に盗難防止用のICタグをつけてはどうか。</li> <li>8) 書籍検索システムでは、一般書籍との区別化ができないことから、目録にある書籍については検索対象外となっている。提案として蔵書検索とは別に、齊藤博記念文庫検索場所を作れば一般書籍と区別化できるのではないかと。そうすれば、柴田町図書館要覧の重点目標に掲げている「資料の充実と情報発信システムの強化」につながるのではないかと。</li> </ol>	
	<p>2. スポーツ振興に向けて</p> <p>本町では、健康で活力あるまちづくりを進めるために、スポーツ振興に取り組んできました。意欲的に運動・スポーツに取り組むことは、健康の保持だけでなく、ストレス解消、免疫力向上で感染を回避することにも有効となります。「する」「みる」「ささえる」そして「いつでも」スポーツ活動に取り組み、町民一人ひと</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順1番] 平間 奈緒美</p>	<p>りのライフスタイルに合ったスポーツ活動を楽しく継続的に実施できるよう以下の点について質問します。</p> <p>1) 並松運動場について、トイレなどの管理状況は。また熱中症対策は。</p> <p>2) スポーツ施設は、利用者にとって使いやすく、当日施設が空いていれば予約ができる体制整備が必要です。現在の施設予約方法（調整会議）にプラスして、インターネットを活用した予約方法を検討しては。</p> <p>3) コロナ禍における小中学生の体力・運動能力の影響を検証していますか。</p> <p>4) スポーツ推進委員の活動状況は。</p> <p>5) 柴田高校野球部が第93回選抜高等学校野球大会出場を決めました。町にとって非常にうれしいニュースです。町として支援・応援を考えていますか。</p>	
	<p>3. 桜を活用した新たな取り組みを</p> <p>町のポスターや広告に使用することを条件に、一目千本桜の下でフォトウエディングをしてはどうでしょうか。町からのお祝いとして、コロナ禍で挙式ができないカップルが新たな門出を迎える記念になります。それを活用することで町のPRにつながると考えます。新たなシティプロモーションとして取り入れてはどうでしょうか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順2番] 15番 舟山 彰</p>	<p>1. この4年間を総括して</p> <p>我々議員はまもなく4年間の任期を終えようとしている。この間私は、本会議での一般質問や、予算決算特別委員会での審査、常任委員会での活動、議員全員協議会での説明に対する質疑など各種行ってきた。ここでは、私が質問等行ってきた事項についてその後どうなったか、確認のため伺う。</p> <p>1) 新体育館について 令和2年度9月会議で「コロナの影響もあるが1年繰り延べ」「建設資金の調達の再検討」「住民からの意見要望や高床式の可能性も含め、可能な範囲で新たな住民の意見等を反映したい」などの答弁があった。そうすると、今まで我々議会に説明してきた資金規模、調達方法、工事内容等全てが変わってくることになる。また、完成後の運営方法についても検討し直すようである。 新体育館建設に向けての資金規模、調達方法、工事内容等について再検討することをはじめ、関係団体など住民からの意見を聞くことや再説明することなどを考えれば、それだけでも1年以上の時間がかかることになると思う。 1月25日の議員全員協議会で、新体育館建設に係る事業の実施については、令和4年3月に議会の最終判断を仰ぐこととなると説明があったが、町は、果たして1年後には議会の最終判断ができると考えているのか。</p> <p>2) 財政状況について 同じく9月会議で「財政危機意識をもっと高めるべきでは」との質問に「本町では現在危機的な財政状況ではない」との答弁があった。では、なぜ、新体育館の建設資金の調達の再検討を行うのか。12月会議での一般質問（文書での質問と答弁になったが）では、私は新年度予算の収入見通し（特にコロナの影響）を質問したが、1月の国による緊急事態宣言を受けて状況がまた変わって来ていると思うので、収入の見通しを改めて伺う。</p> <p>3) 「町内の橋の維持管理の見通しは」との質問に「橋梁長寿命化計画を策定し、平成29年度には、久根添3号橋の改修工事が完了している」との答弁であった。その後の計画の進捗状況は。また、その時、「県の報告で白幡橋は健全」「白幡橋の架け替えの費用は約100億円もかかる」「白幡橋については柴田町は現状維持でやむなし」ということであったが、その後、何か動きはなかったのか。</p> <p>4) 以前、「町長の目指すB級観光地とは」の質問に「潜在的な力と可能性を秘めた観光地」との答弁があっ</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順2番] 舟山 彰</p>	<p>た。また、「人や投資を呼び込む」ともあった。町内への来客数やふるさと納税の増加などがあるが、定住人口の増加や大規模投資など本当の成果はまだあがっていないのではないのか。</p> <p>5) 令和元年10月の台風19号では町内でも大きな被害が出た。翌年の1月には、町の防災方針(6つ)が示された。2月には住民懇談会が開催され、被害者から様々な苦情が出された。3月会議(予算会議)では、私は「さらなる防災対策をどう進めるのか」のテーマで、新年度予算案に含まれる防災関連予算などについて質問した。予算審査特別委員会の委員間討議でも各委員から防災対策について色々な意見が出た。</p> <p>その後、私は今町がとっている防災対策が十分なのか聞いたことがあるが、ここで、改めて直接の担当者である危機管理監にお聞きしたい。今の町の防災対策の課題は。財源は。課題解決の手段は。応急措置は。</p> <p>6) 「船岡城址公園とその周辺は整備されたが、町なかには空き地や空き家が増え、空洞化が進んでいる。生活環境整備が後回しにされている」などこの4年間私は住民の方々から言われ続けたが、町はどう思うか。</p>	
	<p>2. 災害時の避難所確保はいかに</p>	
	<p>以前、「柴田町地域防災計画により、指定避難所22カ所の収容人数を合計すると、6,440人になる」「新体育館は現時点では合計460人と想定している」との答弁があった。コロナ対策で余計に面積をとる必要があるし、今後も大雨の危険性が予想され、避難者の増大も見込まれる中、防災の拠点となるべき新体育館の完成も遅れるとなると、避難所の収容人数対策は本当にどうするのか。</p>	
	<p>3. 町民を本当に豊かにするには</p>	
	<p>柴田町はこのコロナ禍でも、ふるさと納税が増えている。そして、町はその収入増を行政サービスに向けている。それはそれで町民のためになっているが、本当に町民を豊かにしていると言えるのか。町は町民の払う貴重な税金を使い、PRに努めてふるさと納税を集めている。そのコストは、委託業者への支払い、返礼品代を含め、半分ぐらいになり、町の寄附の手取りは半分ぐらいになっている。町はふるさと納税という「外貨」を稼ぎ、収入が増え、前述のように各種の行政サービスをそれで賄っているが、町民そのものの所得などが増え、町民が豊かになったという実感を感じているのか。</p>	

質問者	質問事項	備考
[通告順2番] 舟山 彰	本当に町民を豊かにしていると町は考えているのか。	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順3番] 6番 吉田 和夫</p>	<p>1. 新型コロナウイルスワクチンの接種体制は</p> <p>新型コロナウイルスの感染者数は日々拡大を続けている。1月17日現在、全国累計で331,181人となり、死者も4,500人を超えた。県内でも累計で2,949人が感染し20人が亡くなっている。一日も早いワクチンの接種が望まれているが、接種にあたってはかつてないほどの規模になることや、クーポン券等の印刷・郵送、スタッフの確保、医師会との連携などスピーディに進めなければならない。国としても市町村に対し全庁的な取り組みを進め効率的に接種できる体制づくりを促している。</p> <p>すでに仙台市・岩沼市・東松島市・角田市・多賀城市・松島町・利府町・大和町などでは、ワクチン接種推進室のような全庁あげて、的確に接種できる体制を整え動いている。また、実施についても、仙台市では医療機関ではなく集団接種の方向を示し、市民センターなどの複数施設での計画を予定している。本町としての接種体制はどこまで進んでいるのか伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全庁あげて取り組めないか。</li> <li>2) ワクチンによって、保管温度や輸送体制が異なるが、町にはどの会社のワクチンが割り当てられるのか。</li> <li>3) 2回接種のようだが間隔や実施場所は。</li> <li>4) 高齢者向け優先接種はいつから実施できるのか。</li> <li>5) 基礎疾患のある人が優先となるが抽出はどのように行うのか。また案内は来るのか。</li> <li>6) 接種会場は医療機関も可能か。本町施設のみか。</li> <li>7) 何か所で実施される予定なのか。</li> <li>8) 本町人口からするとディープフリーザーはマイナス75℃1台、マイナス20℃2台となるが保管場所は。</li> <li>9) 町民に対しての啓発はどのように行うのか。チラシやホームページ・お知らせ版・スマートフォンなどあらゆる媒体で行う考えはあるのか。</li> <li>10) 問い合わせも多くあると思う。専用ダイヤルも必要では。</li> </ol>	
	<p>2. 自宅療養者にパルスオキシメーターの配置と食糧支援を</p> <p>昨年の9月会議で、避難所となるところにパルスオキシメーターの配置を訴えた。新型コロナウイルスにり患し、軽症・無症状であっても突然、顕著な自覚症状がないまま病状が悪化し重症化する傾向が見られ、処置が遅れば死に至るケースもある。重症化の兆しは血液中の酸素濃度の変化に現れるため、パルスオキシメーターで指先の皮膚を通して測定することで、いち早く処置につ</p>	



質問者	質問事項	備考
<p>[通告順3番] 吉田 和夫</p>	<p>なげることができる。</p> <p>1月17日現在、全国のコロナ病院が満床の危機的状況にあり、感染者の自宅療養が増えている。神奈川県では自宅療養中の患者は5,000人を超え、職員が行っていた患者の健康観察は、患者自身で行うことに決定し、パルスオキシメーターを配置した。宮城県も自宅療養している患者の容体の急変などに対応するため、パルスオキシメーターの貸し出し配付を始めた。県は600台を準備し、すでに16台使用している。仙台市でも最大200台を確保する予定で、18日から配付を始めている。併せて一週間分の食糧配布を発表した。</p> <p>本町においても自宅療養を余儀なくされる人が想定される。重症化の兆候をつかむことができるパルスオキシメーターの配置と自宅待機期間中の食糧支援を提案する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自宅待機の人へのパルスオキシメーターの準備を。</li> <li>2) 自宅待機の人への一週間分の食糧の準備を。</li> </ol>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順4番] 2番 加藤 滋</p>	<p>防災ラジオの有効活用を</p> <p>今年の1月会議にて、デジタル防災行政無線個別受信機（防災ラジオ）の購入の議案がありました。75歳以上の単身の高齢者や身体障がい者を対象として、1,050台を貸与するものです。主たる目的は、Jアラートや災害時の避難準備・高齢者等避難開始等の発令を防災ラジオから流し、早期の避難行動につなげるものとあります。防災情報での「警戒レベル3」以上が発令された場合には、有効な情報源となり得ると思います。</p> <p>しかし、この貸与方法には少し疑問があります。防災ラジオの購入自体には何ら異論はありませんが、対象となる方々が元気で、避難を自分で判断し、行動できるなら良いのですが、そうではない方には貸与しても初期の目的が達成されない可能性があります。遠くの避難所まで一人では歩いていけない方もいると思います。千人を超す対象者の中には、自ら早期避難を判断し行動につなげられる方がどれくらいいるのでしょうか。また、このような判断・行動が取れない方への対応はどうするのでしょうか。</p> <p>防災ラジオを有効に活用するためには、貸与する対象を判断・行動できる方と周辺からの援助が必要な方に分けて運用することが必要になると思います。援助が必要な方の分は、機動的な体制の取れる組織に配分することも一考ではないでしょうか。早期の避難行動「命を守る行動」につながる防災ラジオの運用について見解を伺います。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順5番] 12番 森 淑子</p>	<p>桜の管理育成は</p> <p>白石川堤を散策中にコゲラを数羽見かけた。船岡城址公園でアカゲラの撮影をしたという人に告げたところ、船岡城址公園や白石川堤でコゲラがかなり数を増やしているようだとのことだった。</p> <p>森林の生態系に詳しい人に問い合わせたところ、アカゲラやコゲラのようなキツツキの仲間は木の幹の中にいる幼虫を食す。マツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリは樹勢の衰えた桜にも産卵し、桜が枯れることもあるという。キツツキは「森の番人」と呼ばれ、木の中にいる幼虫を食べてくれるいわば益鳥だが、個体が増えているということは虫による被害も大きいということであろう。安曇野市では松枯れ対策のため、アカゲラを呼び込むための巣箱づくりを進めている。専門家に相談し、何らかの対応をしてはどうか。</p> <p>一目千本桜と船岡城址公園の桜は樹齢 100 年になる。ソメイヨシノは樹齢 40 年を超えると危険度が増し、寿命は 60 年ともいわれるが、120 年、130 年の樹齢の木もあるということである。先進地に学び、長寿命化を図りつつ、更新計画も立てる時期ではないか。</p> <p>また、白石川堤と船岡城址公園の桜は大河原町と一体のものである。観光面では連携が始まっているが、さくらの管理育成について大河原町と情報交換、連携はできているか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 6 番] 10 番 佐々木 裕子</p>	<p>1. 新型コロナ予防接種開始に向け、町の対応等を問う</p> <p>現在、国は、新型コロナウイルスのワクチン接種に向けて、ワクチンが承認された場合に速やかに接種が可能となるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、都道府県・市町村と連携して接種体制の整備を進めています。</p> <p>ワクチン接種の優先順位は、医療従事者、高齢者、基礎疾患がある人、一般の人の順であり、65 歳以上の高齢者への接種は早くても 4 月 1 日以降になるとのことです。</p> <p>高齢者の接種については、市町村が調整主体となるため、町も人員体制の整備、医療機関との調整、接種会場の準備など早急に体制整備を行う必要があります。</p> <p>そこでワクチンの接種開始に向け、柴田町の対応、状況等について伺います。</p> <p>1) 接種場所等の確保状況は。</p> <p>2) 接種後の 15 分から 30 分、様子を見るための場所も必要となりますが、どのような態勢で臨む考えでしょうか。</p> <p>3) 医師や看護師等の確保状況は。</p> <p>4) 長期間にわたる接種となりますが、人員確保についてどのような対応を考えていますか。</p> <p>5) 会場に来ることができない高齢者や障がい者の方へのワクチン接種の対応について、どのように考えていますか。</p> <p>6) 短時間で悪化に至るアナフィラキシーなどの対応策として、どのような態勢で臨む考えでしょうか。</p>	
	<p>2. 下水道使用料賦課漏れの徴収状況を問う</p> <p>令和元年度 3 月会議でも下水道使用料賦課漏れについて一般質問をし、令和 2 年 2 月 20 日時点で中途納入者及び未納者が 20 人、未納総額 247 万 8,150 円、収納率は 72.77%との答弁がありましたが、その後の徴収状況等について改めて伺います。</p> <p>1) 現在の徴収額及び徴収率は。</p> <p>2) 昨年度は、分納誓約中の納入者が 9 人いましたが、その後の納入状況は。</p> <p>3) 昨年度は、分納誓約をしたものの未納の方が 1 人いました。その後、進展はありましたか。また、状況が変わっていない場合、町として、どのような対応を行いましたか。</p> <p>4) 昨年度は、未納分のうち、死亡者 1 人、行方不明者 4 人、生活保護者 1 人の 6 人分、計 67 万 452 円について</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 6 番] 佐々木 裕子</p>	<p>ては、納入を断念せざるを得ないと考えているとのことでしたが、生活保護者の方については、どのような状況により断念せざるを得ないと考えているのでしょうか。</p> <p>5) 昨年度は、納入交渉中の方が 4 人いましたがその後の納付状況、町としての対応状況は。</p> <p>6) 下水道排水施設指定工事店の違反行為については、平成 31 年 3 月に全指定工事店町内外 90 者を集めた説明会を行い、その後の違反工事はないとの答弁でしたが、今年度の状況は。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順7番] 1番 森 裕樹</p>	<p>1. 町内事業者にさらなるコロナ対策支援を</p> <p>全国的に新型コロナウイルス感染症の影響は収束が見えず、いまだ拡大し続けています。本町においても新型コロナウイルスの感染拡大により、子育て環境や教育環境そして経済活動等が自粛を余儀なくされ、町民の生活に大きな支障をきたしています。</p> <p>本町では地方創生臨時交付金を活用した独自の施策として、ひとり親に対する支援、事業者に対しての家賃補助や国の給付金に上乗せ支給などを実施してきました。</p> <p>しかしながら新型コロナウイルスによる影響は好転するどころか、まだまだ先が見えない状況です。コロナ対策等による休業、会食自粛による顧客の激減で中小企業・個人事業主の方々は現在も深刻な状況に置かれており、特に飲食業者はかなり切迫した状況にあります。デリバリーやテイクアウトを導入し新たな販路を模索したり、お客様を一組限定にしたりと事業主の方々は精一杯知恵を絞り、なんとか今を持ちこたえようと必死に歯を食いしばって頑張っています。町としてそういった方々をしっかりと支援し、このコロナ禍をともに乗り越えていかなければならないと考えます。</p> <p>この切迫した中、中小企業・個人事業者の休業や倒産、廃業が広がる前にスピード感をもって新たな支援が必要だと考えますが、見解を伺います。</p>	
	<p>2. 「ご遺族手続き支援コーナー」の設置を</p> <p>令和元年度3月会議で同僚議員が一般質問しましたが、あらためて「ご遺族手続き支援コーナー」の設置について伺います。</p> <p>高齢化が進めば同時に、亡くなる方も増加すると思われれます。また、その手続きを行うため、庁舎に来庁する方も高齢者が多くなると思います。</p> <p>死亡に伴う手続きは、申請書の種類や関係窓口も多く煩雑です。そのような手続きをご遺族は身内が亡くなった悲しみの中で行わなければならない、町はしっかりと寄り添い、手続きをサポートすべきだと考えます。</p> <p>国は平成31年4月に内閣官房IT総合戦略室で作成した「死亡・相続ワンストップサービス実現に向けた方策のとりまとめ2018」を公表しました。さらに令和元年12月には「デジタル・ガバメント実行計画」を閣議決定し、様々なワンストップサービスの推進の中に「死亡・相続ワンストップサービスの推進」も盛り込まれています。国ではデジタル化を推進していますが、今の段階で</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順7番] 森 裕 樹</p>	<p>は、町では自治体支援ナビシステム導入には至っていません。</p> <p>死亡時の行政手続は一生に何度も経験するものではなく、ほとんどの方々が初めてで何をどうすればいいのか戸惑う方も少なくないと思います。今できる行政サービスを町民に行っていくべきだと考えます。例えば、手続きに必要な申請書を一括して一枚で作成できるようにすることや、高齢者や字を書くことが困難な方への支援などを行えるように「ご遺族手続き支援（おくやみ）コーナー」を設置し、ご遺族の方が安心してそのコーナーだけで手続きが完了できるよう、受付窓口の一本化に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 8 番] 4 番 平間 幸弘</p>	<p>1. 柴田町消防団の改革を</p> <p>柴田町消防団は、町民の安全と財産を守るため日々努力をしています。そのような中、残念ながら団員数が定員数に満たない状況が続いています。団員の中にはサラリーマンも多く、非常時の対応となるとさらに出動できる数に限界も出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>町として、今後も消防団の維持を考えているのであれば、まずは団員の確保と入団した団員が退職せず定年まで活動ができるような対策が必要と考え、次のことを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消防団員の定員は適正なのか。</li> <li>2) 消防団員の確保に向けた対策は。</li> <li>3) 近年、各班の団員確保も難しくなっている。そのような場合、班の合併なども考慮した体制を考えなければならぬと思うが、町の考えは。</li> <li>4) 消防団、各分団、各班の運営費はどのようになっているか。</li> <li>5) 団員に対し、運営費の会計報告はなされているか。</li> <li>6) 団員の報酬及び費用弁償は個人に支払われているか。</li> <li>7) 新たに入団した団員に対し、入団 1、2 年後に状況調査（アンケート）などを実施し、団員として継続が可能になるようなフォローアップを行ってはどうか。</li> <li>8) 過去数年にわたり活動実績のない団員はいるか。</li> <li>9) 数年にわたり活動実績のない団員に対し、町の対応状況は。</li> </ol>	
	<p>2. サイン計画の推進を</p> <p>車載ナビやスマートフォンナビの利用が日常となっていますが、いずれも凝視はできないものです。大まかな方向や目的地を目指すためには、その地名や施設名がはっきりと分かりやすいサインが欠かせないのではないのでしょうか。</p> <p>昨年、里山ビジネス振興協議会において、成田地区の県道 52 号線交差点付近に新たなサインが設置されました。そのサインは間伐材を利用し、周辺の景観になじむと同時に、大きさもあり非常に分かりやすいものです。今後も年次計画をたて数か所に設置の予定と聞きましたが、早急な設置を願い次のことを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 今回は里山ビジネス振興協議会が設置している。町としてどのように捉えているか。</li> <li>2) 計画した設置が早急に完了できるよう、町としての</li> </ol>	



質問者	質問事項	備考
[通告順 8 番] 平間 幸弘	バックアップをしてはどうか。 3) 今回の計画以外に町全体での設置計画はあるか。	
	<p data-bbox="416 344 895 383">3. 上水道の状況と課題解決を</p> <p data-bbox="416 432 1297 835">この冬はいつになく厳しい寒さでした。その寒さからか水道管の凍結などトラブルも発生しています。厳冬期の水道トラブルは的確な水抜きなどを行うことである程度回避できますが、凍結してしまい漏水などになる場合もあります。町内の水道事業者に話を伺ったところ、漏水対策をして通水後にトイレのロータンク内の水が止まらないといったトラブルや、貯湯式タンクの圧力逃し弁の破損で水漏れなどのトラブルが発生することがあるとのことでした。また、水道の圧力が高く、各部品の寿命が短くなることもあるということです。</p> <p data-bbox="416 842 1297 920">そこで、このような状況の改善ができるのか、漏水トラブルを防ぐ観点から現状を伺います。</p> <p data-bbox="416 927 1297 1249">1) 一般的な給水装置の対応圧力は。 2) サニータウンなど、町内でも一部圧力の高い箇所があるとのことだが、町として対策は取っているか。 3) 一般家庭における水道の圧力は、0.4MPa で十分であり、高い場合は減圧弁を設置し、適正な減圧を行うことで家庭内の水漏れが止まることもあるとのことである。このような圧力の高い家庭に対し、町の対応状況と設置計画はあるか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 9 番] 16 番 白内 恵美子</p>	<p>1. コロナ禍においても子どもの最善の利益を</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、1月7日に政府が緊急事態宣言を発出する事態となりました。収束の見通しがつかない状況の中、全国の保育所や放課後児童クラブ等では「感染防止と子どもの最善の利益」を両立させようと、懸命の努力を続けているところです。</p> <p>さて、国の令和2年度3次補正予算において、新型コロナウイルス感染症対策として保育対策総合支援事業費補助金 117 億円、子ども・子育て支援交付金 65 億円が計上されました。「感染防止と子どもの最善の利益」を守るため、柴田町においては、どのように活用する考えなのか伺います。</p> <p>1) 保育対策総合支援事業費補助金について</p> <p>①実施主体は、都道府県または市町村となっている。宮城県ではどちらが担うのか。</p> <p>②事業内容に、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費として、かかり増し経費や研修受講等とある。また、保育所等への子ども用マスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品購入も明記されている。第1次補正や第2次補正でも同じような内容だったが、柴田町としてはどのように活用したのか。今回の第3次補正は、どのように活用する考えなのか。</p> <p>③対象施設は、保育所のほかに地域型保育事業所、認可外保育施設、児童厚生施設となっている。柴田町としてはどの範囲で活用する考えか。</p> <p>2) 子ども・子育て支援交付金について</p> <p>①実施主体は市町村で、補助割合は国・県・市町村が3分の1ずつとなる。町が申請すれば自動的に県も負担するという事なのか。</p> <p>②事業内容は、保育対策総合支援事業費補助金と同様である。柴田町は、第1次補正や第2次補正をどのように活用したのか、第3次補正をどのように活用する考えなのか。</p> <p>③対象事業所として放課後児童健全育成事業の他9事業が明記されている。柴田町としてどの事業が対象となるのか。すべての事業について、この交付金を活用するのか。</p> <p>④放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業として、利用児童等の入退出の管理や、オンライン会議等に必要なICT機器導入費や、研修のオンライン化に必要なシステム基盤の導入費も対象となる。現在、柴田町において、放課後児童クラブ等におけるICT化はどこま</p>	

質問者	質問事項	備考
[通告順 9 番] 白内 恵美子	で進んでいるのか。今回の交付金を活用して導入することを提案する。	
	<p>2. 令和 2 年度第 3 次補正予算の多様な活用を</p> <p>令和 2 年度第 3 次補正予算では「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の拡充として 1 兆 5 千億円が計上「ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現」には 856 億円が計上されています。主な内容に明記されている施策を見ると、多様な項目が並んでいます。その中からいくつか取り上げ、柴田町の今後の活用について伺います。</p> <p>1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮された方のセーフティネット強化として、個人向け緊急小口資金等の特例貸付の実施に 4,199 億円計上された。町内で緊急小口資金や総合支援資金の貸し付けを受けている方の人数は。また、必要な方への周知は十分に行っているのか。</p> <p>2) 児童虐待・DV 対策等総合支援事業の支援対象児童等見守り強化事業に 36 億円計上、補助率は国が 10/10、実施主体は市町村である。対象は、民間団体等の支援スタッフの person 費、訪問経費など事業実施に係る経費となっている。要保護児童対策地域協議会が中核となるが、直接見守りを行うのは民間団体等で、見守り内容は状況の把握、食事の提供、学習・生活指導支援等である。新型コロナウイルス感染症の影響により、児童虐待のリスクが高まっている今、柴田町としても取り組むべきではないか。</p> <p>3) 保育士修学資金貸付等事業に 29 億円計上されている。実施主体は県だが、町内で貸し付けを受けている人数の把握はできているのか。周知はどのような方法で行っているのか。貸付事業のメニューに、未就学児をもつ保育士の保育所復帰支援や潜在保育士の再就職支援等も明記されている。町内で支援を受けた人数は。今後、町も周知に努め大いに活用すべきでは。</p> <p>4) 地方創生臨時交付金ポータルサイトには、埼玉県所沢市の「歩いてポイントをためて、景品が当たるトコトコ健幸マイレージ」や、北海道沼田市の「ICT を活用した高齢者の見守り支援事業」が紹介されている。柴田町においても健康寿命延伸のために、他の自治体を参考にして交付金の多様な活用を考えることを提案する。</p> <p>5) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の中に、「PCR 検査及び抗原検査等、検査体制の更なる充実」に 672 億円が計上されている。新型コロナウイルスのワ</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 9 番] 白内 恵美子</p>	<p>クチンは、町民への接種が完了するまでかなりの時間を要する状況である。</p> <p>今年 1 月 27 日に、ソフトバンクグループの子会社である S B 新型コロナウイルス検査センターが、札幌市と P C R 検査の実施にかかる協定を締結した。無症状者を対象にした唾液 P C R 検査によるスクリーニングを通して、感染拡大に取り組むとのことである。検査の対象者は、①経済活動を行っている事業者、施設及び団体、②医療を提供している事業者、施設及び団体、③高齢者及び障がい者の養護、養育、介護を実施する事業者、施設及び団体、④その他札幌市保健所が検査を必要と認めた事業者、施設及び団体となっている。</p> <p>柴田町においても感染の不安を抱えている方がいらっしゃることから、札幌市のように対象者を決めて協定を結び、P C R 検査を実施することを提案する。</p>	
	<p>3. 図書館建設を大きく前進させるため図書館長として専門家の配置を</p> <p>柴田町図書館が開館して間もなく 11 年となります。滝口町長は 2010 年 5 月 29 日の開館セレモニーの式辞で「今回の図書館は暫定であり、今後、本格的図書館を建設する」と強調されました。ところが、現在の柴田町の個別施設計画では令和 8 年度以降に新設となっています。</p> <p>なぜ、これほど遅らせるのでしょうか。財政的な問題だけではなく、図書館建設計画を牽引できる人材がいなからだと考えます。</p> <p>現在、人数の多い団塊世代が後期高齢者の入り口に差し掛かっており、柴田町においても健康寿命延伸は喫緊の課題となっています。最近、図書館が健康寿命延伸に大きな役割を果たすことがクローズアップされています。何歳になっても好奇心を持って活動することが脳を刺激し、人と人が出会う図書館を核とした社会的活動が、自然に体を動かすこと、歩くことにつながるというものです。図書館建設着手が 5 年後、10 年後になるようでは、柴田町の健康寿命延伸は大きく遅れてしまいます。また、医療や介護に要する金額の増加を考えると、少しでも早く多くの方が利用したくなる図書館を建設する方が、町財政にはプラスとなります。長期的視点に立って財政を考えることが重要ではないでしょうか。</p> <p>そこで、財政的なことも含め図書館建設計画を大きく前進させることのできる人材を、早い段階で図書館長として招聘すること、もしくは全国公募することを提案します。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順10番] 11番 安部 俊三</p>	<p>柴田町スポーツ推進計画の見直しは</p> <p>本町では、昭和51年1月1日制定の町民憲章一項目に「わたくしたちは、心を見がきからだをきたえます」と提唱しています。また、平成11年6月16日に「スポーツ都市」を宣言しました。このことは、町民一人ひとりが、スポーツを通して健康で明るく住みよい町づくりに、積極的に取り組んでいくとする誓いにほかなりません。このような背景、趣旨を踏まえ、また、国のスポーツ基本計画や、柴田町教育振興基本計画などに基づき、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため策定されたのが「柴田町スポーツ推進計画」です。</p> <p>現計画は、平成28年7月から令和8年までの11年間となっており、策定して5年が経過しようとしています。この「計画の期間」に、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化に対応するために、概ね5年後に計画の見直しを行いますと明記され、また、本計画に基づく施策の実施に際しては、適宜その進捗状況の把握に努めるものとし、書かれています。このことから、より充実した、的確なスポーツ活動の推進の指針となるよう見直しが必要と考えますので、下記のことについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) これまでの5年間、スポーツ活動に関する推進を、計画に照らし合わせた場合、現時点における状況をどのように捉え、評価しているのでしょうか。</li> <li>2) 計画の見直しは、いつ行う予定でしょうか。その場合、どのようなことが対象となると考えているのでしょうか。</li> <li>3) 計画に、現在進められている「(仮称)柴田町総合体育館における基本方針」が示されていますが、明記されていることが建設計画内容に網羅されていると理解してよろしいでしょうか。</li> </ol>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 11番] 13番 広 沢 真</p>	<p>1. 町でできる新型コロナウイルス感染対策の検討を</p> <p>新型コロナウイルス感染が問題になってから一年が過ぎたが収束はいまだ見えてこない。1月7日に感染の多い自治体で緊急事態宣言が出されてからいまだ十分には効果が見えてこない中で、個々の自治体の対応が求められている。</p> <p>そこで伺う。</p> <p>1) コロナ病床の稼働率が高い、自宅待機者が多いなどの状況では手をつけられないが、今後一定の新規感染者数が落ち着いてきたら本格的に感染を抑える施策を進めるタイミングが来る。その際には先手を取ってPCR検査を充実させていく必要がある。現在の感染者の把握の方法は発熱、咳などの症状が出た人が保健所のコールセンターなどへ連絡して初めてPCR検査を受けるということになる。しかし、発症して初めて追いかける形では、市中感染で問題になっている無症状者の把握はできない。これに対し、全国的には広島など、無症状者の把握のために高齢者施設、事業所、医療機関や飲食店の従業員などにもPCR検査の対象を広げて社会的検査を行い、無症状者の把握に乗り出す自治体が出てきている。</p> <p>今のところ費用の問題で都道府県や大きな自治体の取り組みだが、この取り組みが今後感染拡大防止に効果を現してくるのではないかと思われる。現状では予算の関係上、町単独で行うのは困難だが、今後の財政措置があれば社会的な検査を行うべきと考えるがどうか。また、県にPCR検査の拡大を要請する機会は。</p> <p>2) 宮城県内ではいまだ出ていないが、全国的には入院調整などで自宅待機のまま急変し亡くなるケースが出ている。また、自宅待機で外に出られず食料など生活物資に困窮する例が出ている仙台市では、自宅待機者に食料を届ける取り組みを行っている。柴田町では深刻な状況には至ってはいないが、事態の悪化を想定して食料を届けるなどの準備を進められないか。</p>	
	<p>2. 納税者の納税しやすい環境づくりを</p> <p>町で収納を行っている地方税は町県民税、国保税、固定資産税など様々あるが、納期を含め多くは基本的なやり方を踏襲している。コンビニ収納など納税の取り扱い先を増やす取り組みは行ってきたが、納期についてはしばらく変わっていない。現在の制度の基本は主体となる納税者層が現在と比べて若い世代が中心だったころのままになっているのではないだろうか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順11番] 広 沢 真</p>	<p>現在、年金生活の納税者が増えている中で、現状に合わせた変更が必要ではないだろうか。特に何人かの町民から、固定資産税の納期を「年金の支給月（偶数月）に合わせてほしい」との意見をもらっている。納税者の年齢層の変化を考慮して、納期を年金生活者のサイクルに合わせることはできないか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順 1 2 番] 7 番 秋本 好則</p>	<p>1. 公共施設に蓄電池の設置を</p> <p>一昨年の台風 15 号は、千葉県に甚大な被害がありました。その中で<small>そうさし</small>匝瑳市のソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）を持つ市民エネルギーちば株式会社は、停電の翌日には自社の発電所に充電ステーションを立ち上げ、誰でも無料で携帯電話やスマートフォン、ノートPCなどの充電をできるようにしました。近隣住民が集まり、充電難民となることなく、災害の情報を得ることができたそうです。災害時の情報難民がどれほど不安になるかは、私たちが身をもって体験しているところです。</p> <p>また、FIT（固定価格買取制度）後の太陽光発電を考えると、自家消費が重要な施策になると考えられます。このような2つの観点から太陽光発電の現状と災害時の活用策について質問します。</p> <p>1) 柴田町での太陽光発電装置の発電能力別の公共施設の設置数は。また、その中で自立運転機能を付加した外部コンセントがある施設はありますか。</p> <p>2) 生涯学習センターや学校などの公共施設は、災害時の避難場所にもなります。太陽光発電装置の設置数と発電された電力の利用方法を伺います。外部コンセントは付いていますか。また、災害時、一定の範囲に電力供給をするために特定付加型の蓄電池が必要と思われませんが、計画はありますか。</p> <p>3) 柴田町役場庁舎の太陽光発電装置はどのように利用されていますか。外部コンセントもあるようですが、災害時の司令塔の機能を求められる以上、匝瑳市の例を見るまでもなく充電ステーションの機能が求められます。十分に機能しますか。また、非常用自家発電機は十分に機能しますか。</p> <p>4) 役場庁舎にも蓄電池を準備し、災害時でも切れ目のない電力供給をする必要があると思います。役場庁舎の平成 29 年度の年間使用電力量は 410,496Kw/h でした。外部からの支援があるまで、一定時間は蓄電池に頼ることと思います。容量はどの程度必要と考えられますか。また、電力を供給する範囲をどこまでと考えますか。</p> <p>5) 災害時に電力がなくなれば屋外拡声装置は機能しません。バッテリーは装備されていますか。</p>	



質問者	質問事項	備考
<p>[通告順12番] 秋本 好則</p>	<p>2. カーボンゼロ宣言の時期は</p> <p>令和2年度12月会議の一般質問で、カーボンゼロ宣言を求めましたが、町長から「柴田町はまだ十分な協議ができていない。また、その意義も住民や企業に十分には理解されてきていない。温室効果ガスの削減に取り組み、その後に検討する」との答弁がありました。</p> <p>あらためて伺います。</p> <p>1) どういう方法で温室効果ガス排出の抑制をするのか、方策とその方策をとる理由は。</p> <p>2) 削減目標は設定しますか。</p> <p>3) 住民や企業への周知、理解を深めるためにどのような施策を考えていますか。また、その必要期間は。</p> <p>4) カーボンゼロ宣言の時期はいつになりますか。</p>	

質問者	質問事項	備考
<p>[通告順13番] 14番 有賀 光子</p>	<p>1. おくやみコーナーの設置を</p> <p>令和元年度3月会議で同僚議員が一般質問した、おくやみコーナーの件で伺います。</p> <p>住民の死亡に伴う手続きをワンストップで担う「おくやみ窓口」を設置する動きが自治体の中で徐々に広がっています。年金や保険、税など多岐にわたる手続きにワンストップで対応することで、窓口でのたらい回しや手続き漏れを防ぎ、遺族の負担軽減を図ります。窓口設置を後押しするため、国は昨年5月、自治体向けに支援システムの提供を開始しました。これまでに数十件の申請が寄せられているようです。</p> <p>全国で最初に設置したのは2016年5月の大分県別府市で、2019年度末までに少なくとも24自治体が導入しています。名称や仕組みは様々ですが、遺族に寄り添う観点から手続きの円滑化を図るのが目的です。介護保険の被保険者証や健康保険証の返納など、各担当課を回れば半日程度かかる手続きを1時間程度に短縮できるようになります。</p> <p>仙台市も遺族が行う各種の行政手続きを1か所で案内する「おくやみコーナー」を令和3年度以降に設置することを検討しているようです。</p> <p>仙台市区政課長は「窓口手続きのワンストップは遺族、職員双方の負担軽減に貢献する。区役所の滞在時間を短くすることで、新型コロナウイルス感染症対策にもつながる」と話しています。</p> <p>ぜひ、柴田町でも導入してはどうか伺います。</p>	
	<p>2. 不育症検査に助成制度を</p> <p>不育症とは、妊娠していても2回以上の流産や死産などを繰り返すことで、妊娠できない不妊症とは異なります。原因には胎児の染色体異常などがありますが、全体の約65%は原因不明です。患者は年間3.1万人程度と推計され、適切な検査・治療を受けることで85%以上が出産できるといわれています。</p> <p>公的医療保険が適用される検査や治療は一部に限られており、適用されていない研究段階の検査・治療を受ける人が多いようです。高額な医療費負担を軽減する目的で、自治体の一部は独自に助成制度を設けています。</p> <p>政府の新たな支援策では、検査のうち、保険診療と保険外診療を共用する混合診療を対象に、自治体が行う助成制度への補助創設を打ち出しました。</p> <p>柴田町でも、不育症検査に助成をしてはどうか伺います。</p>	

